

74 青山学院大学

Aoyama Gakuin University

青山学院大学学生フォーミュラプロジェクト

Aoyama Gakuin Univ. Racing Cars Inc.

<http://www.agrc-intercast.com/>

第13回大会を終えて



今回の総合結果・部門賞

●総合72位

Profile チーム紹介・今までの活動

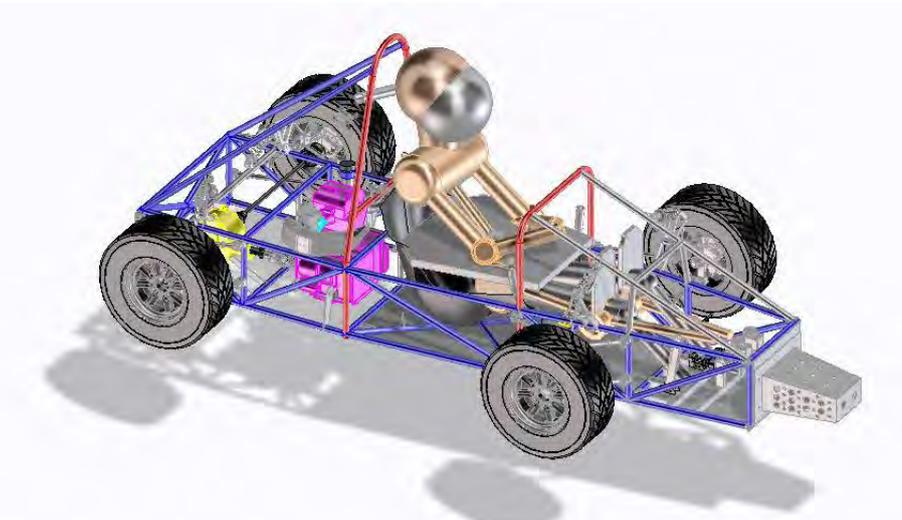
青山学院大学学生フォーミュラチーム新世代チームになり、伝統であったFRレイアウトを廃止しMRレイアウトに変更しより競争力のある車両を目標に、本年度の大会からMRレイアウトでの大会参戦を果たしました。少数精鋭で各メンバー切磋琢磨しながら活動に取り組んでいます。

Team-member チームメンバー

藤森 大輝 (CP)

佐久田 博司 (FA)、林 光一 (FA)

野上 一石、久保 哲宏、氏家 翔馬、大瀧 峻河、山田 雅貴、大脇 正義



Presentation

プレゼンテーション

今年度は、初めてイチから製作したマシンでの大会参加になるので、フォーミュラシンプルというコンセプトですべての構造において超シンプルであることをコンセプトに製作しました。車の整備に関して初心者であっても一目で構造を理解でき、マシンパーツにも一般の人が入手可能な部品を多くすることで、価格を抑え多くの人の手に取ってもらえるように設計しました。

車両性能に関しては、運転免許のない人でも安全に運転できるように、あくまで車の基本性能である走る、止まる、曲がるの3つを確実にこなせることだけをターゲットにしました。例えば、フレームに関しては直角構造を多くして治具を再利用できるように工夫し、比較的安価で手に入りやすいSKTM系の鋼管をメインに製作しました。エンジンに関しては、軽量でコンパクトである単気筒のエンジンを採用し、燃料供給方式にキャブレターを採用しました。足まわりは、角パイプを中心に使用したアップライトを使い加工手順の簡素化を狙いました。

しかし、製作が思ったようにいかない部分が多々あったため実際の予定よりもスケジュールが押し過ぎてしまい、車両の完成時期がぎりぎりになってしまったため車両のデータを取ることとドライバーの練習を積ませるということができなかったのが悔やまれます。

Participation report

参戦レポート

今シーズンは、全審査完走を目標に車両の製作を進めてきました。しかし、車検に通すことができず動的審査の参加すらも叶いませんでした。

書類審査に関しては、計画を立てて完成をめざしました。その甲斐あってか、提出日に余裕を持って提出することができました。しかし、内容としてはまだまだ突き詰められるので、次年度はもっと掘り下げられるよう設計段階からしっかりと計画を練っていきたくです。

大会期間中は、車両の完成がぎりぎりになってしまったため大会会場入りした後も細かい調整が必要でした。1日目にプレゼンテーション審査、2日目にはデザイン審査とコスト審査が入っており、その合間に車検に向けての準備を進めました。2日目の午後には車検の準備が整い給油に向かいましたが、燃料ホースから燃料が漏れるという事態に遭ってしまいこの日の車検は叶いませんでした。3日目になりホースを全部取り替えて給油を行ない車検に向かいましたが、通ることができませんでした。4日目のフォローアップでは多くの指摘をいただき車検を通すにあたりまだまだ不十分であったことを痛感させられました。フォローアップにていただいたアドバイスをしっかりと次期車両に生かしたいと思いました。

本年度の車両製作と大会参加を通して、技術面でもマネジメント面でも学ぶべきことが多く、また悔しい気持ちもありました。本年度のことが無駄にならないよう来年度にしっかりと繋げていけるようにして、今度こそは全審査完走を果たしたいです。

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、DENSO、NTN、PTCジャパン、アルテック、INTERCAST、クイック羽生、F.C.C.、村田、WESTRACINGCARS、サイバネットシステム、タカタ、クチダギアリング、栄鋼管、ナガセツールマテックス、茨城マグネシウム工業会、アップシフト、ガルーダ、重松製作所、アルテアエンジニアリング

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/74.html>